

議事録	<p style="text-align: center;">平成29年度 第1回柏の葉中学校 制服・校内服等検討委員会</p>
日 時	平成29年10月13日(金) 10:00~11:50
場 所	柏の葉小学校
出席者	<p>中学校地域関係者1名, 柏の葉小学校教員2名, 柏の葉小学校PTA2名, 公募委員2名, 柏の葉小児童2名, 教育委員会2名(うち1名は, 中学校教諭) 合計11名 ※昼休み時に報告及び意見聴取</p>
内 容	
<p>第1回柏の葉中学校制服等検討委員会を実施しましたので, 内容について報告いたします。</p> <p>進行は次第のとおり 柏の葉中学校の開校にあたり, 柏の葉中学校関係者において, 制服の必要・不必要, 必要となった場合の着用開始時期及び制服の選定方法について, 協議並びに決定したもの</p> <p>なお, 委員長及び副委員長は, 互選により, 委員長に杉浦柏の葉小学校校長, 副委員長に大森教頭が選出された。</p>	
<p>1 決定事項</p> <p>(1) 制服, ジャージ等は「必要」と判断し, 制定するものとする。ただし, 機能性, LGBT, 洗濯が出来ること, サイズ調整が容易といった経済性等, 出来る限り様々な意見に配慮した制服の検討を行う。ジャージ等についても, 価格, 機能性等の検討を行う。</p> <p>(2) 制服, ジャージ等の着用開始時期は, 平成30年4月とする。</p> <p>(3) 制服の種類については, 男女ともに「ブレザー」とする。</p> <p>(4) 制服, ジャージ等の選定方法については, 各制服メーカーより, 柏の葉中学校にふさわしいと考える制服の企画書及び製作されたサンプルの提出を受け, 第2回柏の葉中学校制服等検討委員会において, 制服の1次選考を行う。メーカーより, 1次選考を通過した制服に関して, 保護者及び児童等にプレゼンテーションを行う。その後, 制服を柏の葉小学校内に展示, 一定期間を設け, 保護者及び児童の総投票を実施し, 最終決定する。</p>	
<p>2 議事内容</p> <p>(1) 制服, 校内服等の必要, 不必要について</p> <p>ア 保護者委員の児童の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制服はあって当たり前のものと考えていたようである。 ・制服がない方が楽だと言っていた。親はある方が良いと思っていたが, 制服の生活は幼稚園で着ていたものの, 小学校6年間では自由に私服を着ていた事に慣れたようであり, 制服に窮屈なマイナスイメージを抱いているようであった。 ・制服があって当たり前で「着たい」と言っており, 本制服等検討委員会の討議資料が届いた際には, 親より先に全部読んでいたので, 制服に興味があることが伺えた。今はあまりジャージも着る事もないので, 制服やジャージの生活に憧れがあるんだと思う。 ・直接話は聞いていないが, 中学校の姉の生活を見ていて, 毎日の制服及びジャージの生活は当 	

制服・校内服等検討委員会

然のこのように、感じていると思う。

イ 学校生活、中学生としての自覚

- ・毎日着るものが決まっていることは、朝から「これじゃない、あれじゃない」と言われるより、親としても楽で良いと思う。
- ・私自身が新設中学校に通っていたが、開校時は制服がなかった。入学時も各自ジャケットの用意など、中学生らしい服装と言われたものの、制服のように採寸したサイズが市販ではあるわけではないため、窮屈な思いをしていた。皆卒業式の服装にネクタイを外した服装で中学校生活を送っている生徒もいて、各自、形は異なるけど、実質的に「制服」と化していた。開校後、結局制服が必要との事になり、ジャージ、スクールバッグも含めて1学期中には全て制定されたので、最初は制服がなくて、不便だった印象がある。
- ・本当に自由だったら別だが、一定の基準（華美でない、中学生らしい服装）は示す必要があり、その場合には着るものに困る。
- ・児童・保護者からのアンケートを見ると色々な意見があるが、「おしゃれ等に気をとられないで、勉強に集中してもらいたい」「中学生の自覚として、勉強のための公私のスイッチの入れ替えとしての役割がある」と「中学生」の段階では制服は役割があり、必要と考えている。
- ・アンケートでは、多くの児童及び生徒が制服を必要としている。一方で、制服不要の意見も理解できるところである。必要、不要の意見は表裏一体であるため、不要の意見も配慮した、納得できるような制服づくりを検討する方が良いのではないだろうか。
- ・必要、不要どちらも良い点はあると思うが、義務教育の位置付け中で、統一したユニフォーム（将来、社会に出て、会社によっては、統一された制服もある）を着用することは、一体感を生み、また On-Off の切り替えの意識醸成など、一定の効果があると考えます。
- ・中学生になったという自覚を醸成するための1つとして、制服は有効であると感じる。制服制定の中で、一定の柔軟性があれば、不要と考える方にも配慮出来ると思う。制服がないことのデメリットは、何を着れば良いのか、親も生徒も悩むこと、柏の葉中学校は、特に同校舎内に6年生（いずれは5年生）も学校活動することを考えると、中学生になったという自覚醸成が難しい。

ウ 防犯及び安全

- ・防犯及び安全の観点からも、どこの生徒かどうか判断するためにも、制服は重要な1つの役割を果たす。
- ・非行防止の観点からも、同意見である。
- ・柏の葉エリアは公立中学校ばかりでなく、私立中学校に通う生徒も多くいる。より様々な制服が散見される事から、地域の安全の観点からも、制服制定は望ましい。

エ LGBT

- ・昨今配慮が求められているLGBTについても、きちんと検討しなければならない。詰襟、セーラー服とした場合、詰襟を女の子が着用することは困難であり（逆もしかり）、考える必要がある。聞いた意見や他校での事例を確認すると、制服制定となった場合、「プレザー」とし、上着は男女ともに共通、ネクタイ、リボン選択可能、下は女子もスラックス、スカートを選択可能としている学校もあるようだ。制服でも私服でも良いと思うが、制服を制定することとなった場合は、少数の方に配慮出来る（選択出来る）ような制服が望ましいと思う。

オ 印西市立西の原中学校（制服のない中学校）の視察報告（検討委員2名の視察報告）

- ・制服のない中学校も素晴らしく、個性を大事にしており、風紀を乱す生徒がいた場合は、強制的に指導せず、個別に考えさせた上で正すという方法をとっていた。しかしながら、柏の葉中学校においては、アンケートで9割近くの生徒・保護者が「制服は必要」という希望がある中

で、それを覆してまで私服とするメリットは、感じる事が出来なかった。

- ・校長先生は、子供達に考えさせる事を軸としている、と話しており、先生と生徒の信頼関係が構築出来ているのは素晴らしいと感じた。しかしながら、制服を制定しなかった理由は、当初生徒が非常に少なかったから、が発端であった。その土壌から、制服のないという環境の中で、どう作り上げるか、関係者で検討及び意識醸成など試行錯誤を繰り返しながら、積み上げていった結果、現在の西の原中学校が出来上がっているのもあって、当初の導入理由や検討順番が柏の葉中学校の制服の検討とは異なる。結果論だけを前提にして、柏の葉中学校入学予定者の児童、保護者が望む中で、柏の葉中学校にそのまま適用することは出来ないと感じた。柏の葉中学校は、柏の葉中学校に通う関係者が望む形で決めれば、良いと思う。制服なしのメリットは勉強になったが、制服があっても自主性は育めるし、柏の葉中学校は制服を制定した上で、制服の中身を工夫することで、柏の葉中学校らしさを出していく方が良いと思う。

カ 価格

- ・制服は昔と違って日々進化していて、買い換えなくても手直しして着れる工夫がされているものもある。手直し代(一例では、3,500円程度)はかかるが、袖及び肩等の調整が幅広く可能となっているため、買い換えるよりは断然に安い。ズボンやスカートの丈出しは無料でやってくれるなど、制服メーカーや販売店も競合しながら、色々と柔軟に対応するため、考えている。
- ・初期投資費用の課題については、数年経てば、リサイクル体制を構築し、積極的に活用すれば、費用面で困難な家庭にも対応出来る。そのためには、リサイクルを意識した学校活動が大事になってくる。
- ・「制服は費用がかかるから、次の世代に残そう」という意識を中学校全体で醸成することで、おのずと支援の輪も広がると考える。
- ・制服と私服の試算をみても、様々な前提はあるにしても、「3年間」という長期的な観点を考えれば、制服の方が経済的ではないか、と感じる。
- ・サイズアウトの観点で言えば、私服の方が買い替えの機会が頻繁に起こる。秋と冬でも異なるし、一概に私服の方が経済的とも言えない。
- ・丸洗いが可能な制服も増えており、その点は非常に経済性もあるし、衛生面にも配慮できる。

キ その他

- ・市内では、登下校で制服、学校生活はジャージとなっているが、必ずしも統一して決まっているわけではないため、開校後、学校において相応しい運用とすることは差し支えないと考える。
- ・制服の洗濯も可能だが、校内での生活はジャージであれば汚れても洗濯しやすく、望ましい。
- ・学校生活において、ジャージは生徒も動きやすいと考えられるため、必要であると考えられる。

◎以上の意見から、経済性、機能性及びLGBT等に可能な限り配慮した「制服(ジャージ含む)」を制定することで良いか(全委員、異議なし)

(2) (制服が必要となった場合のみ)制服の着用時期について

アンケート結果については、必要となった場合は平成30年4月時に着用希望という意見が多かった。生地等からこだわった場合には最低約9ヶ月かかるが、汎用品ベース(制服メーカーが柏の葉中学校に相応しい制服を製作、提案を受けたもののいくつかの中から選択し、検討委員会等で一部修正等)であれば、4月に間に合うとの報告を制服メーカーより受けている。なお、6意見交換(制服の種類)にもあるように、制服の種類の違いによって、制服製作期間(制服着用開始時

期)に差異はない。

- ・糸から染めなくても良いと思う。
- ・制服メーカーの展示会等に行くと、生地はどこも似たり寄ったりとなっていて、だいたい紺が多い。敢えて目立つような変わった生地は、中学生は嫌がると思う。
- ・いつから着用したいか、が決定しないと可能な範囲でのデザイン等の検討は出来ない。初年度の開校式、入学式時に制服が欲しいか、それともじっくり検討して、初年度の秋冬より着用するかだが、秋冬だと開校後に検討を開始することと何ら変わらない。そもそも前年度から検討を開始しているのは、制服が必要な方の意見は、早く欲しいということはアンケートや学校説明会の保護者の反応から、読み取れる。という事を考えれば、4月着用を前提とするデザインの検討が妥当と考えられる。
- ・学校説明会の保護者の反応は、公立だから当然に制服があるという前提だったからどよめいたと思うが、検討委員会の委員として折角の新設校の制服製作に携われると思うと、汎用品ベースとすることに少し寂しさも感じる。入学式にこだわる必要があるのかどうか、悩む。
- ・入学式までに、制服制定が出来てなくても、良いのでは。
- ・入学式だけではないと思う。例えば、吹奏楽コンクール等である場合に、制服はあった方が見栄えがするのではないか。
- ・制服メーカーも繁忙期等があると思うので、例えば、繁忙期の4月をずらして5、6月であれば、無理のない、より良い制服製作が可能なのではないか、と考えている。一方で、入学式を大事にしたいという保護者にどう配慮するか、課題となる。
- ・校内服を先に検討し、入学式は柏の葉小学校の卒業式時の服装で望むこともひとつの選択肢である。

◎入学式を大事にしたい保護者にも配慮することが必要という判断に重きを置き、平成30年4月着用を目指し、制定することで良いか(全委員、異議なし)。

(3) (必要となった場合のみ)選定方法について

- ・詰襟、セーラー服、ブレザーのサンプルをそれぞれ提示して頂いた上で、決定することは出来ないのか。
- ⇒制服メーカー6社より営業を受けており、制服、ジャージ上下、体操服それぞれについてサンプルを依頼するとなると相当な量となり、1つの制服について20分の説明の時間が欲しいと言われている。また、あまりにも選択肢の幅を広げると目移りし、決定出来なくなる可能性がある。可能であれば、詰襟・セーラー服、若しくはブレザーとするかを決定することで、制服メーカーも準備、説明が行いやすく、迅速な意思決定が可能となる(事務局回答)。
- ・プレゼンテーションは検討委員会で行われるのか、またそれとも児童、保護者等を対象に行うのか。
- ⇒案としては2つ考えているが、いずれも検討委員会で選定した制服メーカー(3社程度)に、児童、保護者向け(11月11日(土)ハーモニーフェスティバルの間の時間を活用、参加は自由)にプレゼンテーションを行う機会を設けたいと考えている(事務局回答)。
- ・あまりにも選択肢が多くても判断に迷うので、3パターン程度を全児童及び保護者を対象に、投票して頂く方法が最も妥当なのではないか。
- ・全ての制服メーカーのプレゼンテーションを受ける時間が検討委員会ではないので、制服メーカーより企画書とサンプルの提示を受け、メーカーを絞り込んだ上で、11月11日にプレゼンテ

制服・校内服等検討委員会

ーションを実施及び総投票を行うことが妥当である。サンプル提供がないとイメージがつかない。

- ・制服メーカーから企画書の様式をばらばらに提出されても、比較検討出来ないため、事前に事務局より所定のフォーマットを作成し、強みを明確にして提出を受けるべきである。

◎以上から、第2回制服等検討委員会において、企画書及びサンプルの提供を受け、制服メーカーを1次選考し、3パターン程度を展示、11月11日にプレゼンテーション及び総投票を実施することで良いか（全委員、異議なし）。

(4) 意見交換

ア 制服の種類について

市内の中学校の制服、近隣の私立の中学校、高等学校の制服について説明。

- ・男子は制服を制定するならば、詰襟と当然に考えていた。しかし、今日の議論を通じて、LGBTの配慮を考えた際には、例えば、食物アレルギーでマイノリティを感じるのと同様に、例え、大多数は気にしていなくても、少なからず時代として配慮が求められているのであれば、詰襟及びセーラータイプは選択肢出来ないと感じた。
- ・田中中学校に自転車で通う女子生徒がスカート姿で漕いでいるのを見ると、スラックスも良いのではないかと感じるし、LGBTにも配慮出来ると感じた。
- ・女子の憧れとして、セーラー服は着せてあげたい気持ちもある。
- ・時代の流れもあって、高等学校もスカートとスラックスを選択出来る学校が増えている。
- ・詰襟は、衣替えの時期等には首周りが暑いように感じる。夏は、ポロシャツが涼しく、動きやすく、幅が広がる。またワイシャツと違ってアイロンをかけなくて済むので、良いと思っている。
- ・ユニクロで販売しているポロシャツを着ることも可能であると考えている。
- ・汎用品をベースとし、組み合わせることによってデザイン性を出していくことも良い。詰襟、セーラー服であれば、デザインは限定されるので、4月着用開始は間違いなく可能であると思われるが、それ以外とするのであれば、着用時期によって、選択肢の幅が変わる。
- ・ブレザーでも対応可能な範囲で、4月着用は可能である。また、他校の制服と同一のデザインは、著作権の関係で製作できないので、汎用品といっても、あくまで柏の葉中学校のオリジナル制服にはなると制服メーカーより報告を受けている（事務局説明）。
- ・セーラー服は、脱着が大変である。
- ・セーラー服は、温度調整が困難であり、着用しづらい記憶があるため、ブレザーが良い。
- ・新設校に通っていた時には、セーラー服とブレザーの投票だったが、女子は、ブレザーを選択する保護者が圧倒的に多かった。当時は、格好良く、斬新だったんだと感じているが、現在の時代情勢を踏まえれば、ブレザーが適切なのかもしれない。なお、当時、男子は詰襟（紺）の希望が多かった。
- ・昨今アレルギーの児童も増えており、アトピーの子には、詰襟は首周りが狭く、汗をかくので、つらい。
- ・修学旅行時に湿気で暑い京都へ行った際に、セーラー服だと柔軟な気温調節が出来ず、女子は苦勞していた。ブレザーであれば、そういった苦勞も軽減出来ると考えられる。あとは他の種類と比較して、価格面で差がないのであれば、十分検討範囲にあると思う。
- ・校章については、ピンとするか、制服に貼り付ける事が考えられるが、転校等を考えれば、転校先で買い換える必要はなく、そのまま同じ制服を着用することとなるから、ピンを採用する方が

良いと思う。

- ・ネクタイとリボンを選択制にする事で幅も広がり、様々な配慮が可能である。ブレザーが素敵で良いと思う。
- ・夏服は、上はポロシャツ可とし、紺や白など自由選択にした方が良い。
- ・冠婚葬祭等の式服であるので、中学生のフォーマル着としての重要な役割も果たすため、カジュアルが過ぎないように配慮する必要がある。学校説明会や入試にも影響する。
- ・ラフに着用出来る要素を残しつつも、式典等の際は、ネクタイやリボンをつけて望むとTPOに配慮できるので、問題ない。
- ・指定のものを増やすと販売店まで行かなくてはいけないので、ポロシャツにしても、ワンポイントなどは不要に出来たら良いと思う（現在は、配送可能な販売店もあるようである）。
- ・体の大きい子や体の小さい子は、私服だと合うサイズがない子もいるから、様々な細かなサイズも取り扱っているというのが、学校服の強みだと思う。
- ・ポロシャツの標準品も製作するが、それに準じるものでも可とする取り扱いが望ましい。
- ・アンケートに、「周囲の中学校と同じ制服では、折角の新設校の個性がなくなってしまう。なので、是非新しい街に出来た新設校らしい制服が出来たらいい」という意見からも、市内公立中学校初の「ブレザー」はよいのではないかと思う。

イ 制服メーカーがサンプル作成にあたっての仕様

- ・三つボタンとする。
- ・ズボンは、LGBT等にも配慮し、落ち着いたチェックなど、男女ともに統一感のある仕様とする。
- ・靴は革靴、スニーカーいずれも自由とする。
- ・制服は、洗濯が出来る、サイズ調整が柔軟に対応可能であるなど、経済性に配慮すること。
- ・価格、着心地などの機能性に十分配慮すること。

◎以上より、時世、機能性やLGBTの配慮を踏まえ、「ブレザー」がより好ましいとの意見より、「ブレザー」とすることで良いか（全委員、異議なし）。

(5) 柏の葉小学校児童会の児童委員の意見

- ・私服だと、卒業式や冠婚葬祭等は、別途式服を買わなくてはいけない。
- ・吹奏楽のコンクールは、制服を着用して出場したい。
- ・ブレザータイプが良いと考えている。
- ・上着は、紺色のイメージが良い。
- ・ネクタイ等は、男女共通で着用が可能なものが望ましい。
- ・ズボンは、グレーが良い。
- ・スカートは、チェックが良い。
- ・校章は、取り外し可能なものが良い。
- ・洗濯出来るものなど、機能性が備えたものが望ましい。

上記意見も踏まえて、第2回制服等検討委員会において、デザイン等の検討を行う。

議事録

平成29年度 第1回柏の葉中学校

制服・校内服等検討委員会

11月6日(月) 午後を予定(時間は追って委員に連絡)

以上